

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画審議会事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全	主管課長	長橋 祐之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	適正な都市計画の手続きを進めるため、公平かつ専門的な調査及び審議を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市長からの付議、諮問に応じて市が定める都市計画や都市計画に関する事項を調査及び審議する。 ・公平かつ専門的な立場から調査及び審議を行い、適正な都市計画の決定を行う。 			
事業開始から現在までの状況変化	平成12年4月に都市計画法の改正により流山市都市計画審議会条例を制定。平成23年9月に同条例を改正し、自治基本条例を踏まえ可能な限り市民の声を活かしていくため、公募による市民委員3人の任命を行った。学識経験者7人、市議会議員4人、県職員1人、市民委員3人、計15人で組織されている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	開催回数	4	2	3	回	→→
②	出席委員数	49	26	39	人	→→	
③	案件数	23	9	4	件	→→	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	都市計画審議会は年に3～4回開催している。 次回の委嘱は令和元年10月1日に行う予定。
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,062,800	2,872,000	2,910,400	
事業費(b)(円)	316,800	187,200	273,600	
うち一般財源	316,800	187,200	273,600	
職員給与費(c)(円)	2,746,000	2,684,800	2,636,800	
人役・職員(人)	0.40	0.40	0.40	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	審議会における委員への説明を簡潔明瞭に行い、円滑な議事運営に努める。	③取組における課題(Check)	審議会の効率化を図るため、審議会委員への時宜に合った資料配布を行うとともに資料の簡略化を図る。
②H30に実施した取組(Do)	円滑な議事運営に向けた、適切な資料作成と、議事案件説明を簡潔明瞭に行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	議事運営を円滑なものにするべく、審議会委員への資料配布に際し、引き続き簡潔明瞭なものとするよう努める。